

日 時 令和4年10月4日(火)

児 童 19名

指導者 吉田 武

## 1 単元名 「葛巻町の魅力を伝えよう」 第3小単元「自然を守る人々」

### 2 単元の指導構想

#### (1) 教材(題材)について

葛巻町は豊かな自然にあふれており、その自然条件を生かしたまちづくりを進めている。例えば、豊かな森林資源や寒冷な気候を生かした、トリプルまきフェスタ、スノーワンダーランドなどの行事、地域の産業である酪農・特産品である山葡萄などを生かしたミルクやワインなどの食品、葛巻高原牧場やワインハウスなどの施設などがある。

第1小単元では、これまでに学習してきた葛巻の様子から「自然」の魅力について子どもに考えさせた。そして、葛巻の自然の魅力を十分に捉えられていなかったり自然の魅力に気付いていても伝えきれていなかったりする自分たちの現状を認識させ、グリーンキャンプ、水生生物調査、トリプルまきフェスタなど自然に触れる様々な活動に参加する意義と、それらの機会に「自然の魅力」を探究していきたいという意欲や必要性を持たせた。そして、第2小単元では、二戸市にある施設での自然体験の感想をまとめ、葛巻の自然との比較を通して、葛巻の自然のよさについてあらためて考えさせた。

第3小単元では、まず、第2小単元での他市町村との比較を通してあらためて考えた葛巻の自然のよさについて、具体的にどう確かめたらよいのか、その方法を考えさせる。その際には、本校第5学年の学習活動に例年位置付けられている「水生生物」「学校林活動」で確かめられそうだという見通しを持たせ、実際に活動する。そして、活動を通して感じたことを分類し、関連・順序付けることを通して、葛巻の自然環境が豊かなのは、環境を守るための様々な人々の努力や工夫がもたされていることに気付かせ、学んだことをもとに自分と身近な環境とのかかわりを見直した。

#### (2) 児童について

本学級の子どもは、1・2年生時の生活科見学で葛巻高原牧場を訪れ、自然の中での活動する楽しさを経験している。そして、3年生時の総合的な学習の時間では、地域の産業である酪農について自分なりの考えを持ち、表現をして伝えるという学習に取り組んでいる。さらに、4年生時の総合的な学習の時間では、地域に受け継がれているものとしてミルクやワインについての学習に取り組み、酪農やワイン生産を葛巻の自然条件を生かした産業として捉えることができている。その一方で、豊かな自然があまりにも身近にあるため、都市部にある大型店や娯楽施設などに対しては自然よりも大きな魅力を感じている子どもが少なくはない。

本単元では、子ども達が探究的な見方・考え方を働かせながら、自然環境を守るための様々な人々の取り組みや思いに気づき、葛巻ならではの自然のよさについて考え、自然環境を守ることに進んでかかわっていくことができるようにさせたい。

(3) 指導にあたって

**研究仮説1に関わって**

- ① 自然と関わる行事と葛巻の自然のよさを調査する活動を結び付けることで、自ら問題意識をもって学習に取り組めることができるようにする。
- ② 子どもの素朴な疑問や感想を取り上げることで、見通しを持つことができるようにする。

**研究仮説2に関わって**

- ① 思考ツールを活用することで、体験活動を通して感じたこと、考えたこと、分かったことを比較・分類・関連付け・順序付け・構造化できるようにする。
- ② 社会科「森林とともに生きる」の学習を生かし、感じたことや考えたこと（結果・事実）には理由（原因・要因）があることを明示することで、子どもが分類・関連付け・順序付け・構造化する際の手立てにできるようにする。

**3 単元の指導計画**

(1) 単元の目標

葛巻の自然を体験しそのよさを見つめ直す活動を通して、自然環境を守るための様々な人々の取り組みや思いに気づき、葛巻ならではの自然のよさについて考え、自然環境を守ることに進んでかかわっていくことができるようにする。

(2) 単元の評価規準（第3小単元）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>ア 収集した情報を構造化することを通して、自然環境を守るために様々な人々の思いや取り組みがあることを理解している。</p> <p>イ 葛巻の自然環境の現状を捉えるために調査対象に応じてフィールドワークを実施し、自然を体験する活動の際に感じたことなどを分類している。</p> <p>ウ 葛巻の自然のよさに対する意識の変容は、葛巻の自然環境について探究的に学んだ成果であることに気付いている。</p>	<p>エ 葛巻の自然のよさを確かめるために解決の見通しを持ちながら計画を立てている。</p> <p>オ 必要な情報を多様な方法で収集し、種類に応じて蓄積・分類している。</p> <p>カ 社会科の学習と関連付けながら、川や森林の環境保全と林業との関わりに気付いている。</p> <p>キ 自然を体験する活動を通して、葛巻の自然が豊かなのは、自然環境を守るための様々な人々の努力や工夫のおかげであることに気づきまとめている。</p>	<p>ク 葛巻の自然を体験する活動を通して、葛巻ならではの自然のよさについて自分の意思で考えようとしている。</p> <p>ケ 環境保全に向けた探究的な活動体験を通して、自分と違う友達の考えを生かしながら協働して課題解決に取り組もうとしている。</p> <p>コ 調査活動で学んだことをもとに、自然環境を守ることに進んで関わっていこうとしている。</p>

(3) 指導と評価の計画 【A…課題設定 B…情報収集 C…整理・分析 D…表現・まとめ】

小単元	過程	評価規準 ( <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">評価の観点</span> ・評価の方法)
<p><b>オリエンテーション (1時間)</b></p> <p>これまでの生活科や総合的な学習の時間での取り組みを思い起こす。また、他教科の年間計画や学年行事を踏まえて、葛巻と自分のかかわりを考え、課題意識をもつ。</p>		
<p><b>第1小単元 (10時間)「葛巻の魅力 再発見」</b></p> <p>これまでの学習や日常生活から葛巻のよさを考え、分類し、自然のよさが多いことに気付く。また、葛巻の自然のよさについて具体的に考えることを通して、「今回の学習ではよく分からなかったこと」「これから学習してみたいこと」などの新たな課題を持つ。</p>		
<p><b>第2小単元 (14時間)「グリーンキャンプに行こう！」</b></p> <p>自然の中での様々な体験を通して、自然のもつよさを実感し、葛巻の自然との関わりを考える材料とする。</p>		
<p><b>第3小単元 (20時間)</b></p>	<p>A</p> <p>○グリーンキャンプで体験した二戸の自然と葛巻の自然とを比較し、葛巻の自然の魅力についてあらためて考える。</p> <p>◆思考ツールを用い、分類・比較する。</p> <p style="text-align: center;"><b>仮説2②に関わる手立て</b></p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>葛巻ならではの自然のよさをたしかめよう。</p> </div> <p>○葛巻の自然のよさを確かめるためにはどうしたらよいか考え、解決の見通しを持つ。</p> <p>◆5年生が参加する自然に関する行事と関連付ける。</p> <p style="text-align: center;"><b>仮説1①に関わる手だて</b></p>	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">エ</span> 葛巻の自然のよさを確かめるために解決の見通しを持ちながら計画を立てている。(発言・ワークシート)</p>
	<p>B</p> <p>C</p> <p>○水生生物調査で確かめたいことを考える。</p> <p>◆子どもの素朴な疑問を取り上げる。</p> <p style="text-align: center;"><b>仮説1②に関わる手だて</b></p> <p>○馬淵川の水生生物調査を行い、結果や調査をした時に感じた自然のよさをまとめる。</p> <p>○馬淵側はなぜよい環境が保たれているのか考える。</p> <p>◆社会科の学習と関連付ける。</p> <p style="text-align: center;"><b>仮説2②に関わる手立て</b></p>	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">イ</span> 葛巻の自然環境の現状を捉えるために調査対象に応じてフィールドワークを実施し、自然を体験する活動の際に感じたことなどを分類している。(活動の様子・ワークシート)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">オ</span> 必要な情報を多様な方法で収集し、種類に応じて蓄積・分類している。(ワークシート)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">カ</span> 社会科の学習と関連付けながら、川や森林の環境保全と林業との関わりに気付いている。(発言・ワークシート)</p>

		<p>ク 葛巻の自然を体験する活動を通して、葛巻ならではの自然のよさについて自分の意思で考えようとしている。(活動の様子・発言・ワークシート)</p> <p>ケ 環境保全に向けた探究的な活動体験を通して、自分と違う友達の考えを生かしながら協働して課題解決に取り組もうとしている。(発言・ワークシート)</p>
B C	<p>○学校林活動で確かめたいことを考える。 ◆子どもの素朴な疑問を取り上げる。</p> <p style="text-align: center;"><b><u>仮説1②に関わる手立て</u></b></p> <p>○森林組合の方々に話を聞く。 ○学校林の下草刈りを経験する。 ○学校林はなぜよい環境が保たれているのか考える。 ◆社会科の学習と関連付ける。</p> <p style="text-align: center;"><b><u>仮説2②に関わる手立て</u></b></p>	<p>イ 葛巻の自然環境の現状を捉えるために調査対象に応じてフィールドワークを実施し、自然を体験する活動の際に感じたことなどを分類している。(活動の様子・ワークシート)</p> <p>オ 必要な情報を多様な方法で収集し、種類に応じて蓄積・分類している。(ワークシート)</p> <p>カ 社会科の学習と関連付けながら、川や森林の環境保全と林業との関わりに気付いている。(発言・ワークシート)</p> <p>ク 葛巻の自然を体験する活動を通して、葛巻ならではの自然のよさについて自分の意思で考えようとしている。(活動の様子・発言・ワークシート)</p> <p>ケ 環境保全に向けた探究的な活動体験を通して、自分と違う友達の考えを生かしながら協働して課題解決に取り組もうとしている。(発言・ワークシート)</p>
C	<p>○水生生物調査や学校林活動をした時に分かったことや考えたこと、感じたことなどをまとめる。 ◆思考ツールを用い、分類する。</p> <p style="text-align: center;"><b><u>仮説2①に関わる手立て</u></b></p>	<p>オ 必要な情報を多様な方法で収集し、種類に応じて蓄積・分類している。(ワークシート)</p>

<p><b>C</b></p>	<p>○分類した情報を、個人で整理する。 ○個人の考えを、小グループで交流する。 ○全員で意見交流し、まとめる。 ◆ピラミッドチャートを活用し、構造化する。 <b>仮説2①に関わる手立て</b> ○気付いたこと、分かったことを、個人でまとめる。</p>	<p><b>ア</b> 収集した情報を構造化することを通して、自然環境を守るために様々な人々の思いや取り組みがあることを理解している。(ワークシート) <b>キ</b> 自然を体験する活動を通して、葛巻の自然が豊かなのは、自然環境を守るための様々な人々が努力や工夫のおかげであることに気付きまとめている。(発言・ワークシート)</p>
<p><b>D</b></p>	<p>○単元を通して分かったことを、文章にまとめる。</p>	<p><b>ウ</b> 葛巻の自然のよさに対する意識の変容は、葛巻の自然環境について探究的に学んだ成果であることに気付いている。(発言・ワークシート) <b>コ</b> 調査活動で学んだことをもとに、自然環境を守ることに進んで関わっていかうとしている。(発言・ワークシート)</p>
<p><b>第4小単元（10時間）「自然を生かした取り組み」</b></p>		
<p>トリプルまきフェスタの様子を振り返り、様々な行事を通して、町全体で自然を守る努力や工夫をしていることに気付く。</p>		
<p><b>第5小単元（3時間）「冬の楽しみ」</b></p>		
<p>ゆきっこチャレンジに取り組んだ際の自分の気持ちを振り返り、厳しい寒さも、葛巻ならではの自然のよさであることに気付く。</p>		
<p><b>第6小単元（17時間）「葛巻ならではの自然の魅力を伝えよう！」</b></p>		
<p>1年間を通して体験してきた葛巻ならではの自然の魅力をまとめ、これからも葛巻の自然環境が保全されていくために自分たちができることや、自然を生かした未来の葛巻のまちづくりについて考える。</p>		

#### 4 本時の指導計画

##### (1) 目標

葛巻の自然について、今までに収集してきた知識や情報を関連付けながら、豊かな自然環境は様々な人々の努力や工夫に支えられていることに気付きまとめることができる。

**思考力、判断力、表現力等**

##### (2) 評価規準

葛巻の自然について、今までに収集してきた知識や情報を関連付けながら、豊かな自然環境は様々な人々の努力や工夫に支えられていることに気付きまとめている。

**思考・判断・表現**

(3) 展開

段階	学習内容と学習活動	□指導上の留意点 ◆研究に関わる手立て ◎評価	資料等
導入 5分	1. 課題を設定し、本時の学習の見通しを持つ。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             葛巻ならではの自然のよさのものは何だろう。           </div>	<input type="checkbox"/> 本時では、前時までに収集した知識や情報を関連・順序付けることを通して、葛巻ならではの自然のよさのもとについて考えていくことを意識できるようにする。	ロイロノート
展開 25分	2. 水生生物調査や学校林活動で収集した知識や情報を、個人で整理する。  3. 個人で整理したものについて、班で意見交流をする。  4. 全員で意見交流しながら、情報をまとめる。 ○自然のよさのもととなっているのは、自然環境を守るための人々の工夫や努力であること	<input type="checkbox"/> 次に班内で意見交流することを伝え、その際には理由を言えるように準備させる。 ◆ピラミッドチャートを用い、整理させる。 <p style="text-align: center;"><b>仮説2①に関わる手立て</b></p> <input type="checkbox"/> 次に学級全体で表を整理することを伝え、自分自身の考えを整理するためにグループでの意見交流が重要であることを意識できるようにする。  <input type="checkbox"/> 指導者がファシリテーターの役割を果たし、情報を整理していく。 ◆ロイロノートの共有ノート機能を用い、子ども自身に操作させながら分類する。 <p style="text-align: center;"><b>仮説2①に関わる手立て</b></p> <input type="checkbox"/> 自分たちが行った水生生物調査や学校林活動も自然環境を守る努力や工夫につながっていることに気付くことができるようにする。	ロイロノート  ピラミッドチャート
まとめ 15分	5. 学習を振り返る。  6. 次単元の見通しを持つ。	◎葛巻の自然について、今までに収集してきた知識や情報を関連付けながら、豊かな自然環境は様々な人々の努力や工夫に支えられていることに気付きまとめている。(ノート 発言)  ◆「トリプルまきフェスタ」などの様々な行事も、葛巻ならではの自然のよさにつながっていそうなことを想起させる。 <p style="text-align: center;"><b>仮説1①に関わる手立て</b></p>	ロイロノート